

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】産業技術(船舶、機械)に関する最新の動向	講習形態	講義
開設者	長崎総合科学大学	定員	50 名
開設日/時間	令和3年8月17日(火) / 9:45~17:30	会場	長崎総合科学大学 グリーンヒルキャンパス(長崎市) 8号館 2階 822講義室
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小・中学校(技術)、高等学校 (工業) 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 松岡 和彦 (工学部) / MATSUOKA_Kazuhiko@NiAS.ac.jp / TEL 095-838-5166			
担当教員(分担担当者等) 岡田 公一 (工学部)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい： 機械工学分野、設計・構造工学分野、また環境・エネルギーといった工業技術の研究開発の 現状と将来展望について学習する。 講習方法： 各講師が、それぞれ90分間の講習と30分間の筆記試験を行う。プリント資料を配布する。 講習到達目標： 船舶・機械・エネルギーに関連する技術開発について最新の知識を持つ。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要)： 機械工学分野では、自動車、船舶等のモビリティからロボットや省エネ技術の現状と将来展望について、設計・構造工 学分野では造船分野を事例とし、省エネや低振動、シブリサイクルといった最新の船に求められる技術動向とICTを 活用した新しい設計・建造の技術を講習する。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	09:45 ~ 09:50	松岡 和彦
	「設計・構造工学」連携した設計情報の迅速化技術	09:50 ~ 11:20	松岡 和彦
	筆記試験	11:30 ~ 12:00	松岡 和彦
	昼休憩	12:00 ~ 13:00	
	「機械工学」省エネ技術の現状と将来展望	13:00 ~ 14:30	岡田 公一
	筆記試験	14:40 ~ 15:10	岡田 公一
	「設計・構造工学」造船技術の現状と将来展望	15:20 ~ 16:50	松岡 和彦
	筆記試験	17:00 ~ 17:30	松岡 和彦
キーワード：(設計のICT化) (高度エネルギー利用) (高付加価値船)			
成績評価の方法	成績は、各講習担当者が行う筆記試験の成績により評価します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書なし。当日、プリントを配布します。		
各自で準備するもの	筆記用具		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に 事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		

